

私の留学体験、思い出

国際学部二年

多田未奈

今体験談を書いている時点で既に4か月間の北京留学は終了しているわけですが、4か月を振り返り、自分を評価するならば、力いっぱい褒めてあげたいくらいの思い出、収穫、成長を感じられます。ここにはその四か月の個人的な楽しかったこと、面白かった体験、それから感じた事を記します。

まず一つに、中国人の友達との出会いです。留学が始まって間もないころ、私は日本語学科の方たちとお話ができる交流会に参加しました。一番はじめに隣にいて一番はじめに話した同い年の女の子が私の4か月間で一番大切な友達になりました。彼女は私をオリンピック公園や清華大学や北京語言大学、色々な場所に連れて行ってくれました。ある日彼女から校内のカラオケ大会に誘われ、カラオケが好きな私は一緒に参加することにしました。すると、予選の参加人数が多いにも関わらず決勝戦に進み、二人で大喜びしました。猫カフェに行って癒されたのもいい思い出です。時には悩み相談にも乗ってくれて、これからもいい関係でいたいと思える友人ができました。

食事面で困ることは少なかったです。日本が恋しくなっても大丈夫、近くにマクドナルド、お寿司屋さん、少し歩けばココイチ、吉野家があります。ユニクロもあります。ただ、海外のお寿司屋さんといえば大体の方がどんなものか想像がつくと思いますが、想像通りです。好奇心で巻き寿司の中身がアイス、その上にクッキーさらにシロップなどがかかったものを食べました。個性的な味がしました。

次に後悔したことです。私は大体の物は中国で買うようにし、スーツケースは割と小さ目のもの1つで行ったのですが、後悔しました。お土産が一つも入りません。冬服がかさばるのです。しかも、11月頃に大きいリュックが壊れてしまったのです。仕方ないので機内手荷物は薄いトートバッグのみでした。よくそれで帰ってこられたなと我ながら感心しましたが、私と同じ状況にならないように気をつけてください。帰国前日に入らない物を泣く泣く捨てました。

まだまだ書き足りない部分がたくさんあるのですが、大きく3つに分けて紹介しました。少しでも見てくださった方の役に立てたら幸いです。私は現在再び北京に戻ってきてこれを書いています。留学期間の延長を決めたからです。中国で中国語を勉強すること、4か月で感じた充実感、自身の成長、感じたすべてのことに刺激を受け、中国にいることを決めました。今度は国際情報大学の仲間がそばにいない状況での再スタートです。ここからまた新しい発見ができるよう、日々勉学に励んでいこうと思います。

学校付近の日本食屋さん（お寿司屋さん）

